

引き続き お知らせ

下水道に接続して快適で
住みよいまちにしましょう

下水道に接続することで、ご家庭などから排出される汚水が下水道で処理され、地域一帯の生活環境や水環境が改善されます。また、くみとり便所から水洗トイレになるので、快適な生活が送れます。

下水道が使えるようになつた地域のご家庭や事業所は、一日も早く下水道に接続しましょう。

■下水道への接続方法

下水道への接続工事は、市が指定した工事店が行うことになっていきます。

工事を行われる方は、指定工事店へ申し込み、工事内容や日程などについてご相談ください。

指定工事店がわからない場合は、次の担当課へお問い合わせください。

■問合せ

○市庁舎本館下水道業務課
下水道業務係

(内線2825)

○東予総合支所下水道課
業務係 (内線211)

水洗便所改造資金の融資を
ご利用ください

くみ取り便所を水洗便所に改造する工事や、浄化槽を廃止して汚水ますに直結する工事の際に、市では水洗便所改造資金の融資あっせんを行っています。

■融資の条件

○自己資金による改造が困難であること

○市税、受益者負担金・分担金等の滞納がないこと

○処理開始の日から3年以内に行う改造工事であること

○市内に住所を有し、申請者と生計を別にする連帯保証人がいること

■融資あっせん限度額

○くみ取り便所の場合
1件につき40万円以内

○浄化槽の場合

1件につき30万円以内

■利息

市が負担します。

■償還方法

貸付けの翌月から改造工事1件につき、毎月1万円ずつ償還となります。

■問合せ

申請方法など詳しくは、指定工事店、もしくは次の担当課へお問い合わせください。

○市庁舎本館下水道業務課
下水道業務係

(内線2825)
○東予総合支所下水道課
業務係 (内線211)

花火の取り扱いに注意して
火災を防止しましょう

日本の夏の風物詩、花火。家庭で気軽に楽しめる花火も取り扱いを誤ると、思わぬところへ飛火して火災になったり、火傷(やけど)などの事故を引き起こしかねません。

花火をするときは、次のことに注意しましょう。

○燃えやすいものがある場所で遊ぶのはやめましょう。

○風の強いときは、遊ぶのをやめましょう。

○子どもだけで遊ばせないようにしましょう。

○取扱説明書などを必ず読んでから遊びましょう。

○花火を分解したり、数本まとめて点火するのは絶対にやめましょう。

○水の入った消火用バケツなどを必ず用意し、後片付けをしましょう。



水は自然の恵み。そして大切な資源です。
節水に心がけ、水を大切に使いましょう

今年は平年に比べて、4月から5月にかけての降水量が極端に少ないため、渇水の恐れが出てきています。

左のグラフは、今年と昨年の5月31日現在においての、地下水位を示したものです。ご覧いただくと分かるように、昨年と比べて、地下水位が約1層下がっています。

水は、日常生活に一日たりとも欠かせない貴重なものです。市民の皆さん一人ひとりが、いま一度、毎日のくらしの中で水の使い方を工夫し、節水に努めましょう。

水を大切に使う工夫

●水は一度ためてから使おう

蛇口から出る水の量は、1分間に6〜12リットルといわれています。歯を磨くときは、コップに水をくんでから済ませましょう。食器を洗うときも、水を洗い桶などにためて洗うようにしましょう。

●洗車はバケツで

洗車をする際に、ホースで水を出しつ放しにすると、およそバケツ40杯(浴槽一つ分以上)の水を使用します。バケツ洗いなら、5杯程度で済むといわれています。

●トイレの水は1回で

トイレの水は、1回でおよそ10〜15リットルの量が流れます。流し続けや、「音消しの習慣」は、水の無駄遣いになるのでやめましょう。

●残り湯を有効に使おう

お風呂の残り湯は、洗濯・掃除・まき水など、有効に使いましょう。

●洗濯機は「ためすぎ」

洗濯機の「すすぎ」は、「流水すすぎ」を「ためすぎ」にするると約50リットル節水できます。

